

乳がん早期発見へ デジタルマンモグラフィのリースシステムを共同開発

2007年2月20日

各位

三井リース事業株式会社
株式会社日立メディコ
株式会社ドクターネット

乳がん早期発見へ デジタルマンモグラフィのリースシステムを共同開発

三井リース事業株式会社(本社所在地:東京都中央区、代表取締役社長:小野卓)、株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、代表執行役社長:稲員裕三)、株式会社ドクターネット(本社所在地:栃木県宇都宮市、代表取締役:佐藤俊彦)の三社は、フラットパネル検出器(以下、「FPD」という)搭載のデジタルマンモグラフィ装置(乳腺・乳房専用の診断用 X 線装置)の遠隔画像診断機能付リースシステムを共同開発いたしましたのでお知らせします。

1. 背景

乳がんは女性のがん罹患率 1 位であり、乳がんで死亡する女性の数は年々増加する傾向にあり、最近では年間約 1 万人に達しています。厚生労働省の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では、40 歳以上の女性を対象にマンモグラフィ装置を主体とした乳がん検診の実施と、検診画像について十分な経験を有する医師を含む 2 名以上の医師による二重読影が求められております。

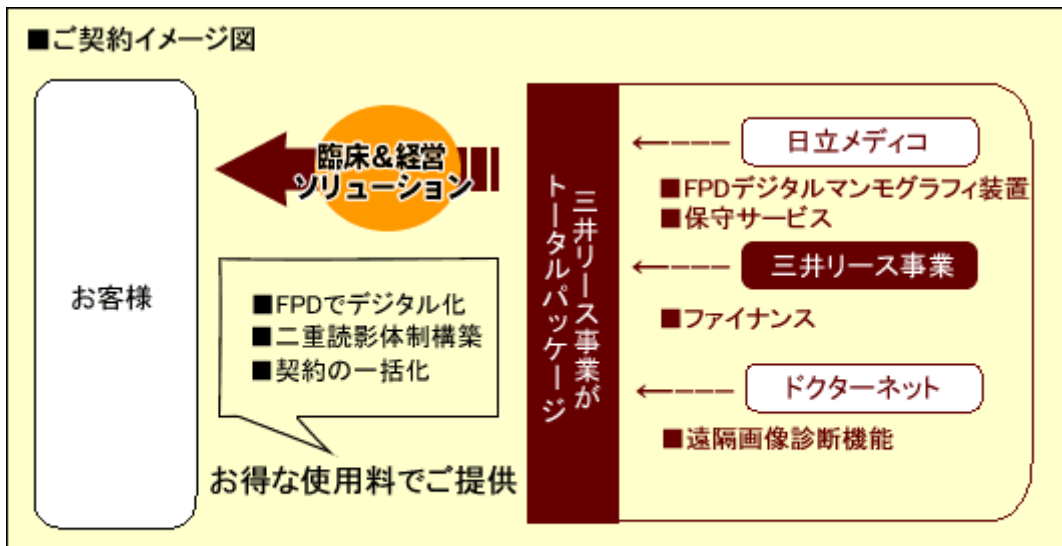
しかしながら、早期に発見し治療を行えば 5 年生存率が 8 割以上という結果が出ているにもかかわらず、マンモグラフィ装置を導入している施設数は十分とは言えず、定期的に検診を受ける女性がまだまだ少ないのが現状です。また、マンモグラフィで撮影した画像の読影に習熟した医師の配置に地域格差があるもの実態です。

2. リースシステムの概要

日立メディコが販売している FPD を搭載したデジタルマンモグラフィ装置(LORAD M-IV(Selenia))は、デジタル画像処理を行うことで画質を保ったまま管理・伝送することができますので、ドクターネットが提供する遠隔画像診断機能と結びつけることが可能となります。これにより、どこからでも検診マンモグラフィ読影認定医師による診断が可能となり、より正確な診断に寄与します。

また、三井リース事業独自の金融ノウハウを活かしたファイナンススキームにより、お得な使用料で遠隔画像診断機能付 FPD デジタルマンモグラフィを全国の医療機関に提供します。さらに、リースサービス、保守サービスの契約の一括化により、導入先の事務の効率化にも寄与します。

このような特徴を持つリースシステムを通じて、三井リース事業、日立メディコ、ドクターネットの 3 社は、遠隔画像診断機能と結びつけたデジタルマンモグラフィ装置の普及を促進し、乳がん検診の受診率向上を図ります。



- ㈱日立メディコは、高性能なFPDデジタルマンモグラフィ装置LORAD Seleniaを提供しております。
- 三井リース事業㈱は、購買力と金融ノウハウで差別化されたファイナンスサービスを提供しております。
- ㈱ドクターネットは、放射線専門医(A認定医を含む)による質の高い読影レポートを提供しております。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社日立メディコ (URL <http://www.hitachi-medical.co.jp>)

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号 秋葉原 UDX18 階

営業関係: 営業技術本部 ソリューションビジネス部

森 TEL 03-3526-8315 FAX 03-3526-8300

広報関係: 総務本部 法務・総務グループ

杉原、松井 TEL 03-3526-8809 FAX 03-3526-8810

以上